

労災情報たかやま (H29.5月号)

高山労働基準監督署(安全衛生課)

平成29年4月末時点の労働災害発生状況について

全産業

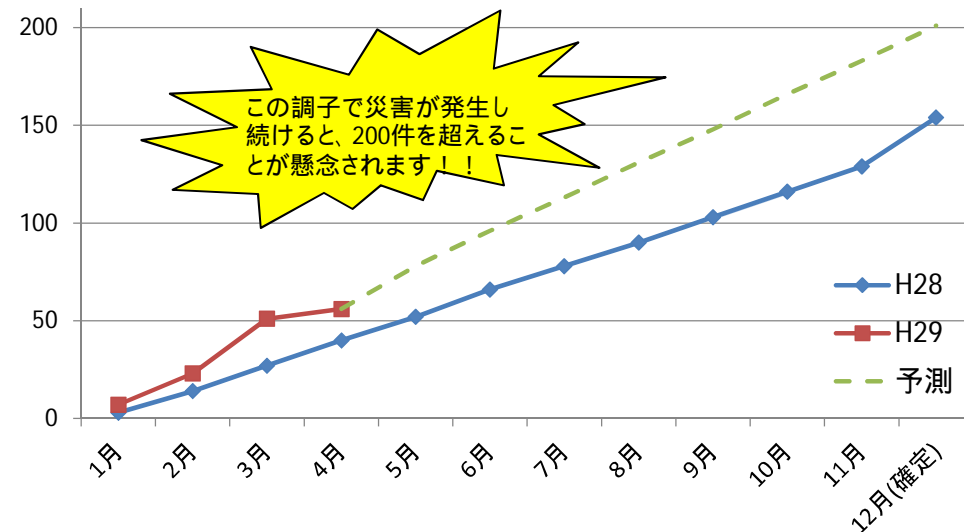
	平成29年	平成28年	対前年比 増減数	対前年比 増減率
死亡者数	2人	0人	2人	
死傷者数	56人	40人	16人	40.0%

主要産業の死傷者数

	平成29年		平成28年		対前年比 増減数		対前年比 死傷者数増減率	
製造業		9		16		-7		-43.8%
建設業		9		4		5		125.0%
運送業		5		3		2		66.7%
林業	(1)	5	(1)	1	(1)	4		400.0%
商業等	(1)	25	(1)	15	(1)	10		66.7%

製造業以外の業種はすべて増加!

労働災害発生件数の推移



コメント

全産業における労働災害発生件数は4月末時点で**前年同期比約1.5倍**となっており、予断を許さない状況であるばかりか、このような労働災害の発生状況が今後も継続すると**年間で200件を超える労働災害が発生**すると推測されます。

また、これからの季節は、夏季に向かい高温多湿となることから、熱中症にも十分注意してください。

死亡災害事例

業種	林業	発生時期	平成29年3月
事故の型	激突され	起因物	立木
災害発生状況	<p>杉立木(樹高約25m、胸高直径約30cm)を斜面上方向に伐倒したところ、幹が裂け上がり、その反動で跳ね上がった伐倒木が、退避しようとしていた被災者の上に覆いかぶさるように落下し、地面と幹の根元の間で挟まれたもの。</p>		
災害発生原因	<p>・伐倒木が倒れる途中で裂けたことにより、伐倒場所が後ろにずれたこと。 ・つるが有効に機能しなかったこと。</p>		
再発防止対策等	<p>現在、調査中。</p>		

概略図

